

名古屋市における地域のつながりと生活満足度調査に
ご回答・ご協力いただいた皆様へ

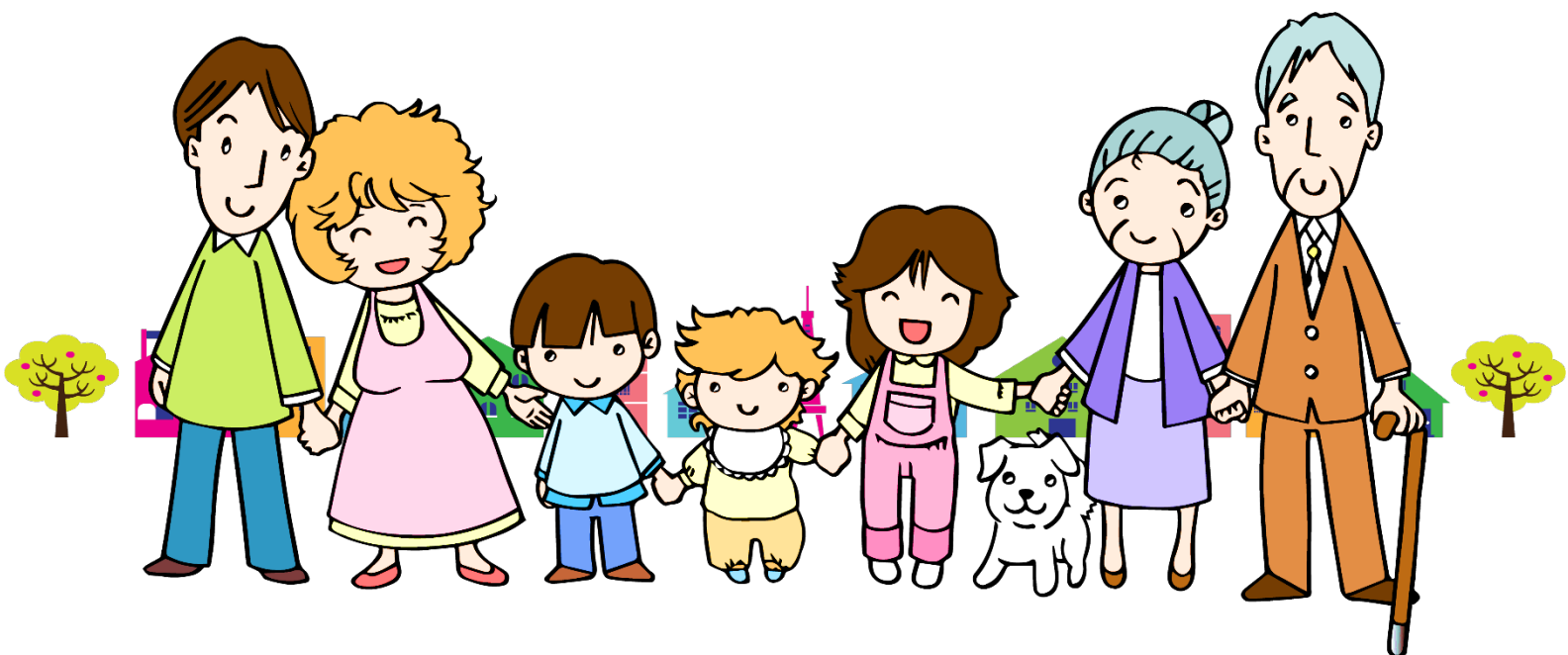
この度はお忙しい中、調査にご協力いただき
誠にありがとうございました。

遅くなりまして申し訳ありません。

集計結果を公表させていただきます。

貴重なご意見をいただけたこと、深く感謝いたしております。

皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



「名古屋市における地域のつながりと生活満足度に関する調査」

集計結果の概要

1. 調査の概要

- 1) 調査名称：「名古屋市における地域のつながりと生活満足度に関する調査」
- 2) 調査対象地域：名古屋市内50学区
- 3) 調査対象者：2020年1月現在で名古屋市に居住し選挙人名簿に記載されている30歳～74歳までの住民
- 4) サンプル数：5000票
- 5) 抽出方法：層化二段無作為抽出
市内266小学校区を地区類型ごとに層化し、そこから50学区を人口規模に応じた確率で抽出、次に1学区100人のサンプルを等間隔抽出で抽出
- 6) 調査主体：河村則行（名古屋大学大学院環境学研究科・准教授）
- 7) 調査方法：郵送による配票・回収
- 8) 調査実施時期：2020年2月
- 9) 有効回収数：2178票（有効回収率：43.6%）
- 10) 調査費用：科学研究費補助金（課題番号：18H00924）

2. 集計結果の概要と見方

次頁以下に単純集計結果を示した。有効回答をもとに〇〇%というかたちで記した。設問・回答は見やすくするため編集を加えてあり、元のかたちから若干変更されているものもある。それぞれの設問に対しては簡単な説明を加えた。調査者の属性に関連するフェースシート項目については省略している。

〇〇学区にお住まいの方へ

名古屋市における地域のつながりと 生活満足度に関する調査

【ご記入に関してのお願い】

1. 回答は、封筒の宛名に記されたご本人が、ご記入くださるようお願いいたします。
2. 回答には、もしよろしければ同封のボールペンをお使いください。
3. 質問の回答は、あなたのご意見に最も近いものを選び、あてはまる番号に○印をつけてください。
4. 調査について、疑問点などございましたら、遠慮なく下記までお問い合わせください。
5. ご記入後のアンケート用紙は、返信用封筒に入れていただき、2月28日(金)までにポストに投函してください。

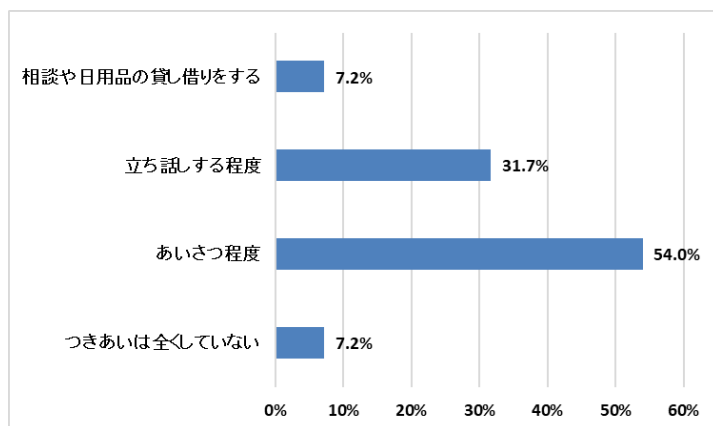
【お問い合わせ先】

〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院環境学研究科・情報学部 河村 則行
電話/FAX 052-789-4740（電話：平日 10時～16時）
E-mail：kawamura.noriyuki@e.mbox.nagoya-u.ac.jp

問1 あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか。それぞれの項目について、あてはまるもの一つに○をつけてください。

(1) つきあいの程度

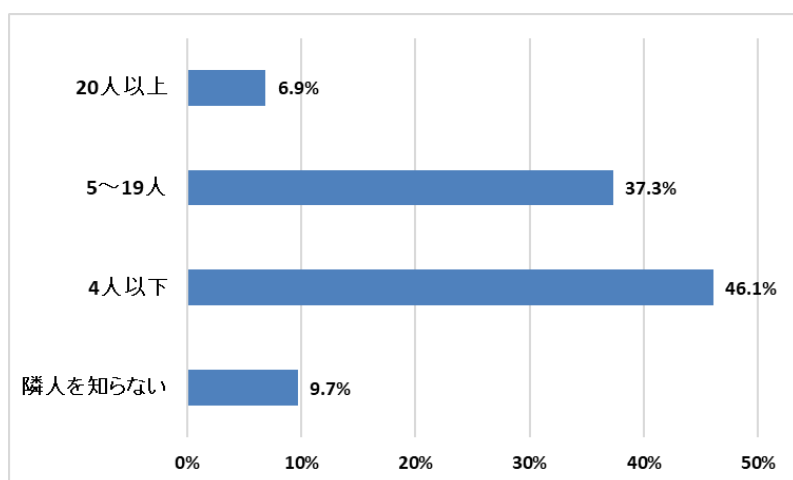
1. 互いに相談や日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力しあっている人がいる **7.2%**
2. 日常的に立ち話しをする程度のつきあいはしている **31.7%**
3. あいさつ程度の最小限のつきあいしかしていない **54.0%**
4. つきあいは全くしていない **7.2%**



近隣関係の程度について、あいさつ程度の関係が最も多く 54.0%、次いで立ち話し程度が 31.7%であった。多くの人が近所つきあいをしていることがわかったが、全くつきあいが無いという回答も 7.2%あった。

(2) つきあっている人の数

1. 近所のかなり多くの人と面識・交流がある（概ね20人以上） **6.9%**
2. ある程度の人との面識・交流がある（概ね5～19人） **37.3%**
3. 近所のごく少数の人とだけと面識・交流がある（概ね4人以下） **46.1%**
4. 隣の人がだれかも知らない **9.7%**



近隣関係の人数について、概ね4人以下の人との面識・交流が最も多く 46.1%で、次いで概ね5～19人の人との面識・交流が 37.3%であった。近隣で面識・交流がある人数が20人未満の人の割合が8割以上となったが、隣の人がだれか知らないという回答も 9.7%であった。

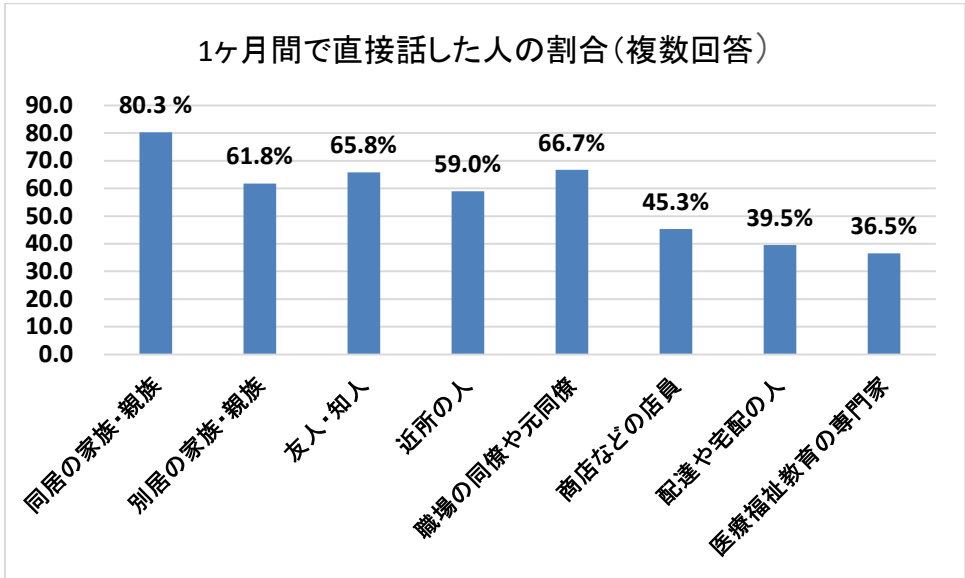
問2 あなたはふだんの程度、人と会話や世間話をしますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。(家族との会話や電話でのあいさつ程度の会話も含みます)

- | | | |
|-----------------------|------------------------|-----------------------------|
| 1. 毎日 82.0% | 2. 2～3日に1回 8.1% | 3. 4～7日(1週間)に1回 5.0% |
| 4. 2週間に1回 1.5% | 5. 1か月に1回 1.2% | 6. ほとんど話をしない 2.3% |

毎日誰かと会話をする回答が8割以上を占め、その他を選択する回答は少なかった。

問3 ここ1か月間に直接話をした人は、何人くらいいましたか。(家族や電話でのあいさつ程度の会話も含みます)

1. 0人 0.3% 2. 1～4人 6.8% 3. 5～9人 14.3% 4. 10～20人 29.4% 5. 21～49人 24.8% 6. 50人以上 24.4%	(付問) それはどんな関係の人ですか。 (あてはまるものすべてに○をつけてください) 1. 同居の家族・親族 80.3% 2. 別居の家族・親族 61.8% 3. 友人・知人 65.8% 4. 近所の人 59.0% 5. 職場の同僚や元同僚 66.7% 6. 商店などの店員 45.3% 7. 配達や宅配の人(郵便や新聞等) 39.5% 8. 医療・福祉・教育関係の専門家 36.5% 9. 電話相談の相談員 1.1% 10. その他(具体的に)
---	---



ここ1ヶ月で直接話した人との関係について、同居の家族・親族が80.3%で最も多く、職場の同僚や元同僚が66.7%、友人・知人が65.8%、別居の家族・親族が61.8%と続いて多いことが示された。

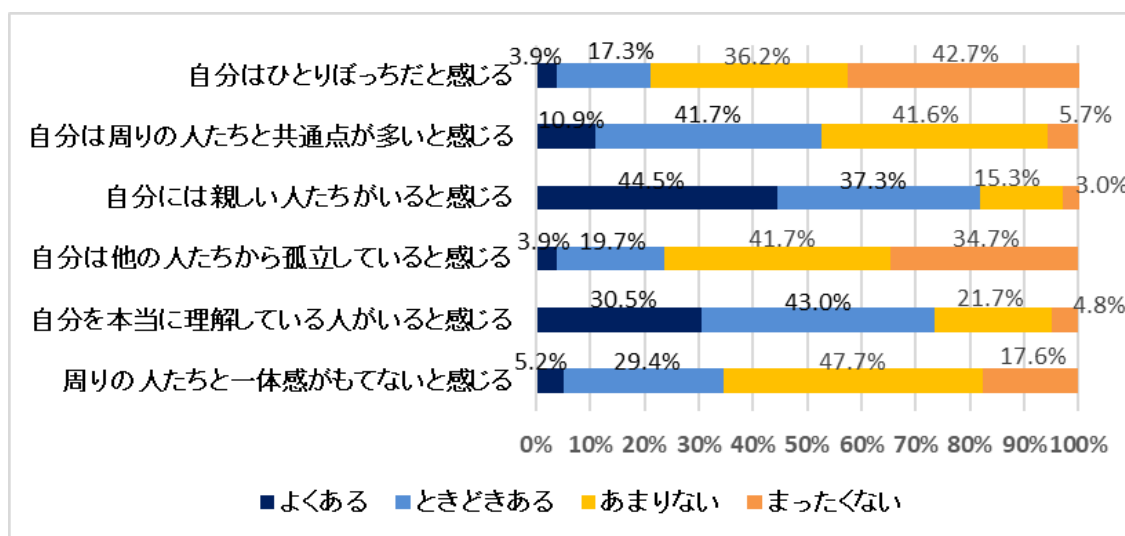
問4 選挙の時に投票に行っていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 必ず行っている	2. できるかぎり行っている	3. 忙しく行くことが できていない	4. 行かない
39.3%	41.9%	7.9%	10.9%

投票に行かない人が2割弱いることが示された。

問5 それぞれの項目について、あなたはどのくらいの頻度で感じているかお答えください。
あてはまるもの一つに○をつけてください。

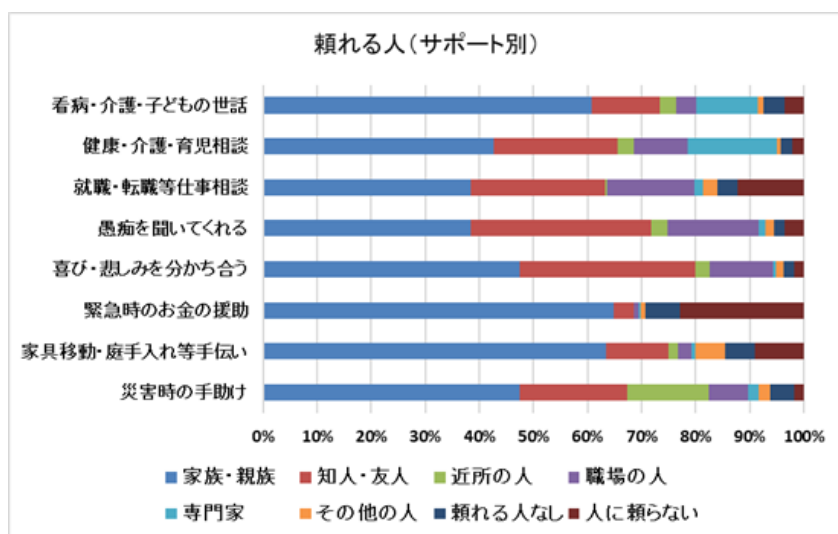
	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない
自分はひとりぼっちだと感じる	3.9%	17.3%	36.2%	42.7%
自分は周りの人たちと共通点が多いと感じる	10.9%	41.7%	41.6%	5.7%
自分には親しい人たちがいると感じる	44.5%	37.3%	15.3%	3.0%
自分は他の人たちから孤立していると感じる	3.9%	19.7%	41.7%	34.7%
自分を本当に理解している人がいると感じる	30.5%	43.0%	21.7%	4.8%
周りの人たちと一体感がもてないと感じる	5.2%	29.4%	47.7%	17.6%



人間関係において、孤立感を持つ人の割合は少なく、親しい人がいると感じる人や自分を理解している人がいると感じる人の割合が8割を超えている。一方で3割以上の人が周りの人たちと一体感がもてないと感じている。

問6 次の事柄で頼れる人はいますか。それぞれについてあてはまるものすべてに○をつけてください。

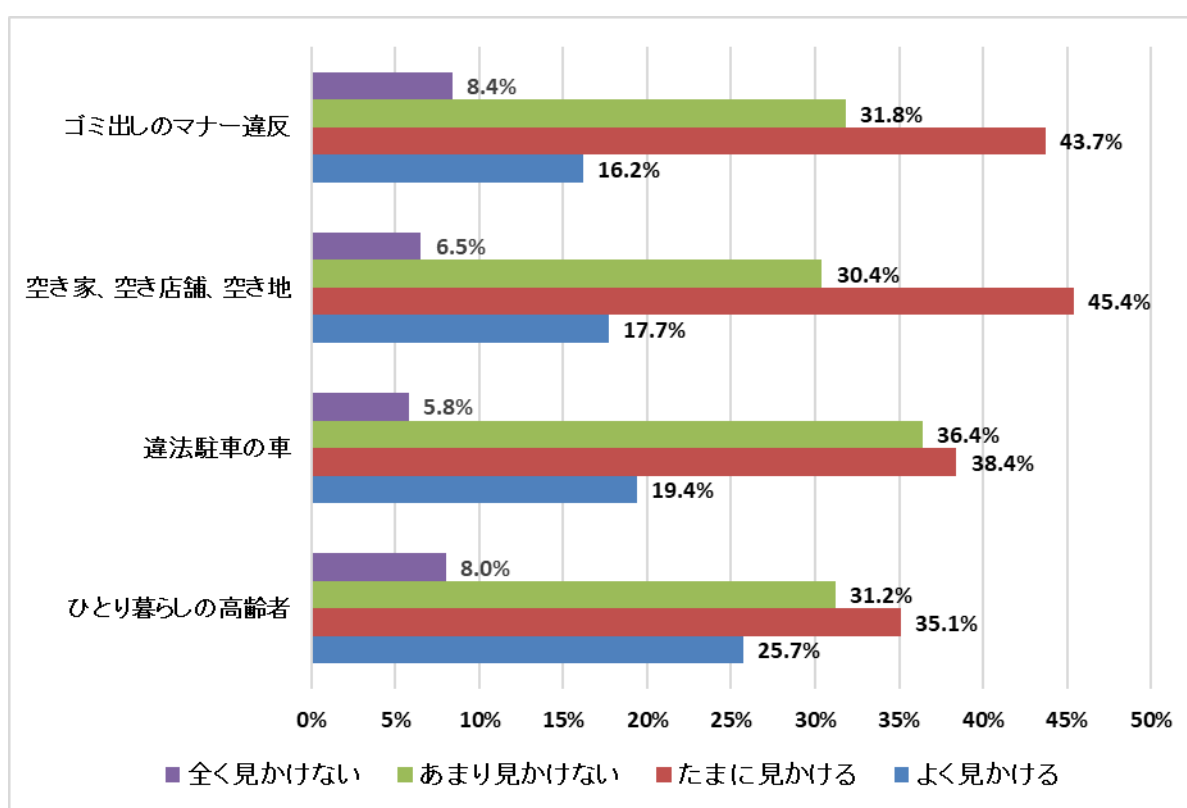
	家族・親類	知人・友人	近所の人	職場の人	医療・教育・福祉・ の専門家	その他の人	頼れる人はいない	頼らない そのことでは人に
(1) 看病や介護、子どもの世話	86.2%	17.9%	4.3%	5.1%	16.3%	1.3%	5.6%	5.1%
(2) 健康、介護、育児に関する相談	78.3%	42.1%	5.5%	18.3%	30.1%	1.5%	3.7%	4.0%
(3) 就職・転職など仕事に関する相談	54.2%	35.3%	0.6%	22.7%	2.4%	3.6%	5.4%	17.3%
(4) 愚痴を聞いてくれること	70.9%	61.4%	5.6%	31.1%	2.3%	2.8%	3.5%	6.7%
(5) 喜びや悲しみを分かち合うこと	85.0%	57.9%	4.9%	20.9%	1.1%	2.5%	3.3%	2.3%
(6) いざというときのお金の援助	69.5%	4.1%	0%	1.0%	0.3%	0.9%	7.0%	24.5%
(7) 家具の移動・庭の手入れなどの手伝い	76.5%	13.8%	2.2%	3.1%	0.8%	6.7%	6.6%	10.9%
(8) 災害時の手助け	83.2%	34.9%	26.7%	12.8%	3.5%	3.7%	7.8%	3.0%



頼れる人について、(1) から (8) の どの項目も「家族・親類」が多くを占めていることが示された。(8) 災害時の手助けでは、「家族・親類」が83.2%と最も多く占めているが、「近所の人」が26.7%で、「知人・友人」の34.9%より少ないことが示され、災害時における共助の在り方について考えるきっかけとなるのではないと思われる。

問7 お住まいの地域（小学校区）で次の事柄を見かけますか。それぞれの項目について、あてはまるもの一つに○をつけてください。

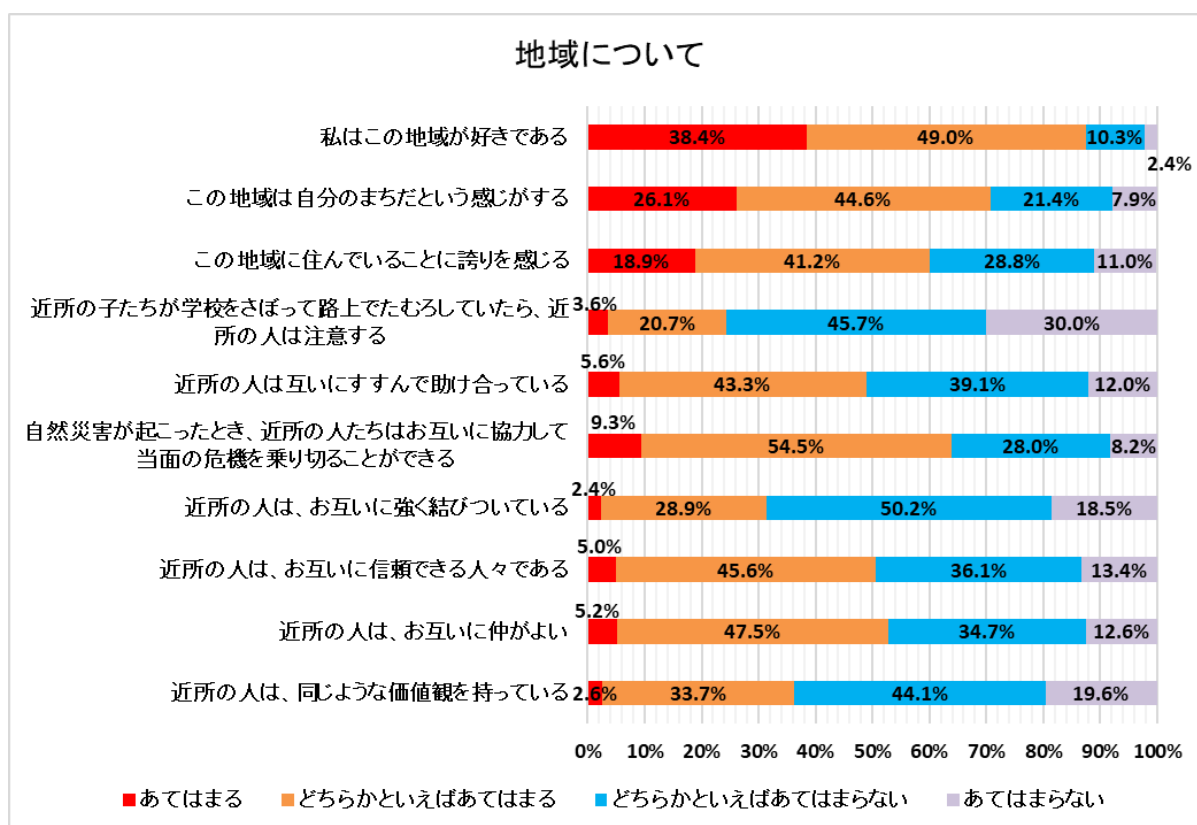
	よく見かける	たまに見かける	あまり見かけない	全く見かけない
ゴミ出しのマナー違反	16.2%	43.7%	31.8%	8.4%
空き家、空き店舗、空き地	17.7%	45.4%	30.4%	6.5%
違法駐車の手	19.4%	38.4%	36.4%	5.8%
ひとり暮らしの高齢者	25.7%	35.1%	31.2%	8.0%



いずれの項目も「見かける」回答が半数を超えていることが示され、住民の地域で生活するうえでの不安や不満の表れの一つとして考えられる。

問8 あなたのお住まいの地域の状況について、お聞きします。以下の事柄について、どの程度あてはまりますか。それぞれの項目について、あてはまるもの一つに○をつけてください。

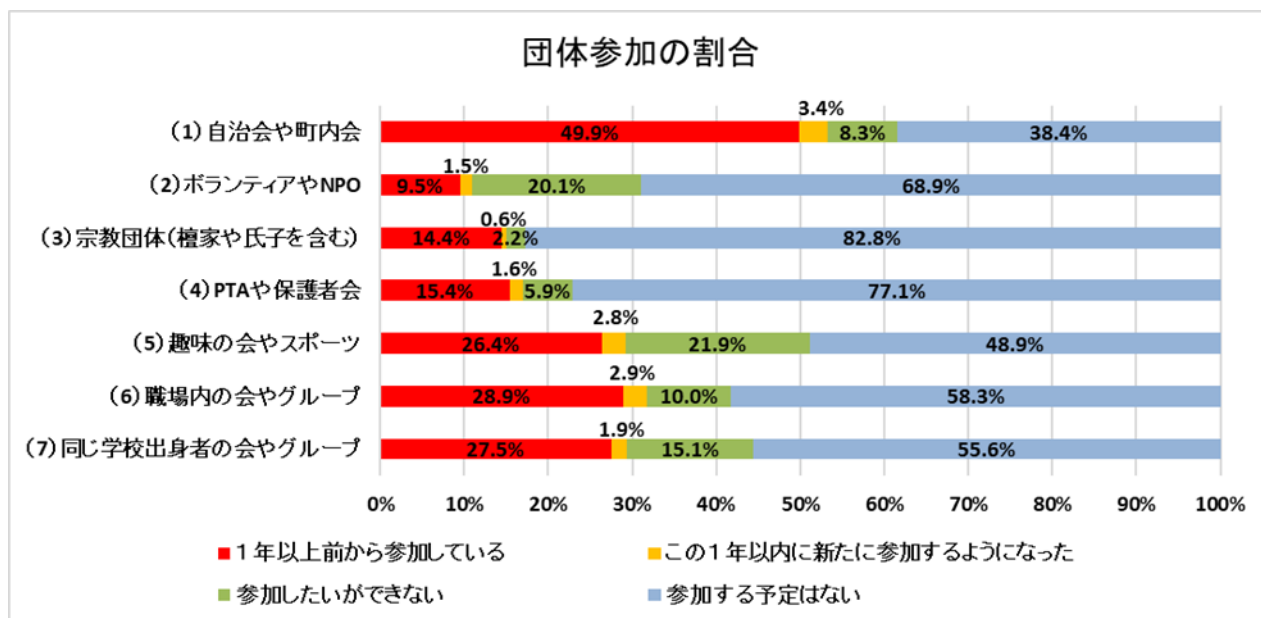
	あてはまる	どちらかといえば	どちらかといえば	あてはまらない
私はこの地域が好きである	38.4%	49.0%	10.3%	2.4%
この地域は自分のまちだという感じがする	26.1%	44.6%	21.4%	7.9%
この地域に住んでいることに誇りを感じる	18.9%	41.2%	28.8%	11.0%
近所の子たちが学校をさぼって路上でたむろしていたら、近所の人は注意する	3.6%	20.7%	45.7%	30.0%
自然災害が起こったとき、近所の人たちはお互いに協力して当面の危機を乗り切ることができる	9.3%	54.5%	28.0%	8.2%
近所の人はい互いにすすんで助け合っている	5.6%	43.3%	39.1%	12.0%
近所の人、お互いに強く結びついている	2.4%	28.9%	50.2%	18.5%
近所の人、お互いに信頼できる人々である	5.0%	45.6%	36.1%	13.4%
近所の人、お互いに仲がよい	5.2%	47.5%	34.7%	12.6%
近所の人、同じような価値観を持っている	2.6%	33.7%	44.1%	19.6%



地域に愛着を持っている人が87.4%を占められ、また自分のまちだと感じている人が70.7%と、地域への好意は高いが、一方近隣関係については「強く結びついている」という回答は31.3%で、また「すすんで助け合う」「信頼できる」は半数程度にとどまっています、地域への愛着と近隣関係とは切り離して考えていることが示された。

問9 下の会やグループに参加していますか。それぞれの項目について、あてはまるもの一つに○をつけてください。

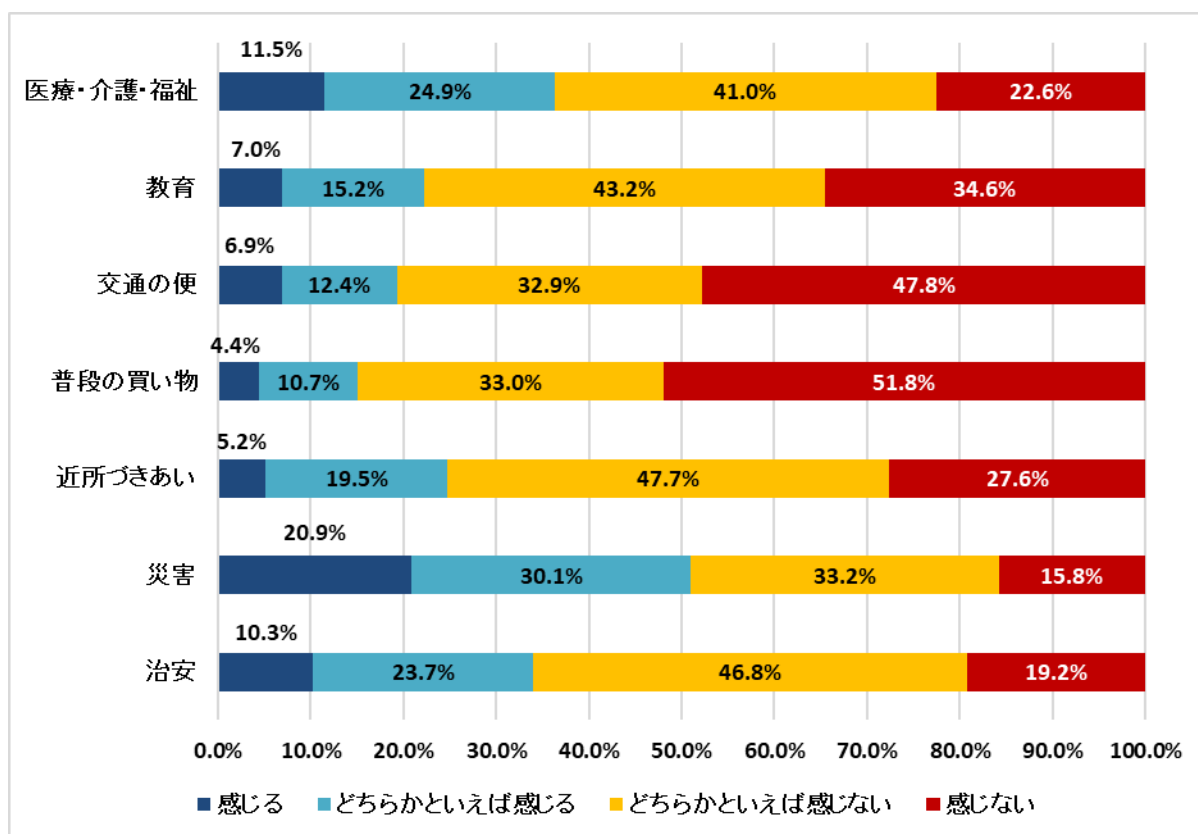
	参加している 1年以上前から	この1年以内に新たに 参加するようになった	参加したいが できない	参加する 予定はない
(1) 自治会や町内会	49.9%	3.4%	8.3%	38.4%
(2) ボランティアやNPO	9.5%	1.5%	20.1%	68.9%
(3) 宗教団体（檀家や氏子を含む）	14.4%	0.6%	2.2%	82.8%
(4) PTA や保護者会	15.4%	1.6%	5.9%	77.1%
(5) 趣味の会やスポーツ	26.4%	2.8%	21.9%	48.9%
(6) 職場内の会やグループ	28.9%	2.9%	10.0%	58.3%
(7) 同じ学校出身者の会やグループ	27.5%	1.9%	15.1%	55.6%



地域の自治会や町内会に参加している人が49.9%で、この中で一番多いことが示された。またボランティアや趣味の会やスポーツに「参加したいができない」と回答している人も2割以上あり、日々の生活に追われ、時間的余裕がないのではないかと推測される。

問10 お住まいの地域で生活するうえで、次の事柄について不安を感じますか。それぞれの項目について、もっとも近いもの一つに○をつけてください。

	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない
医療・介護・福祉	11.5%	24.9%	41.0%	22.6%
教育	7.0%	15.2%	43.2%	34.6%
交通の便	6.9%	12.4%	32.9%	47.8%
普段の買い物	4.4%	10.7%	33.0%	51.8%
近所づきあい	5.2%	19.5%	47.7%	27.6%
災害	20.9%	30.1%	33.2%	15.8%
治安	10.3%	23.7%	46.8%	19.2%



地域生活のなかで不安を感じる事柄について、「災害」が51%でポイントが一番高く、次いで「医療・介護・福祉」の36.4%、「治安」の34%となり、安心・安全な暮らしができる地域をめざすことが一番重要であることが示されたといえよう。一方、交通の便については80.7%、普段の買い物については84.8%の人が不安を感じておらず、日常生活において利便性が高いといつてよいと思われる。

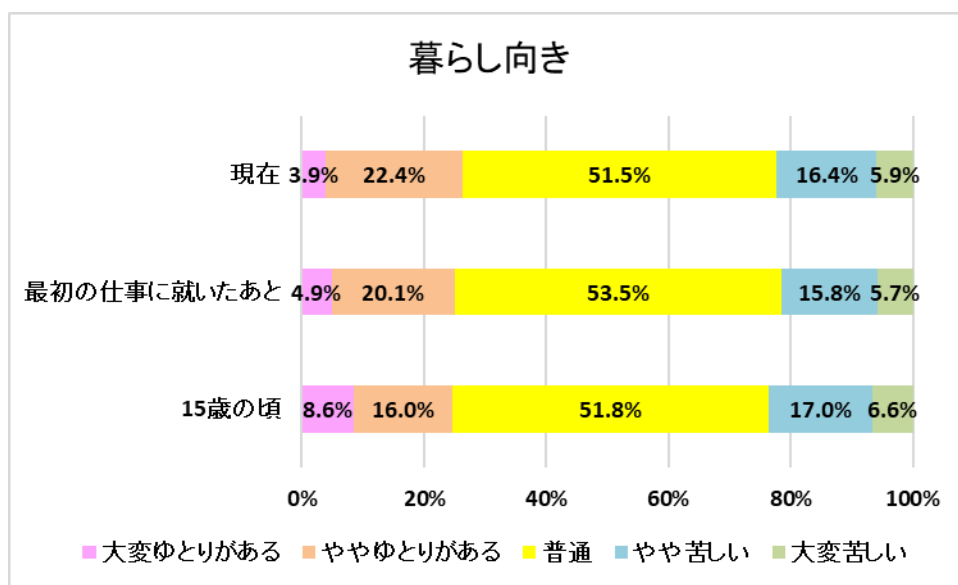
問11 あなたは、これからも現在の地域（学区）に住みたいと思いますか。

1. ずっと住みたい 43.8%	2. 当分の間は住みたい 47.8%
3. できれば他の地域に引越したい 6.9%	4. すぐにでも他の地域に引越したい 1.5%

現在の学区にずっと、あるいは当分住みたいと思っている人は91.6%と圧倒的が多いことが示された。

問12 現在と過去のあなたの暮らし向きについてお聞きします。それぞれの項目について、あてはまるもの一つに○をつけてください。

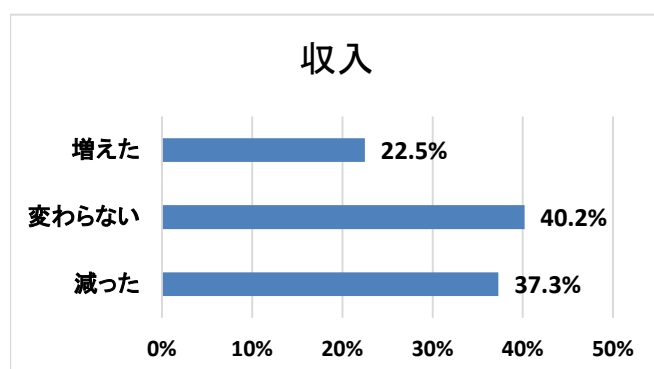
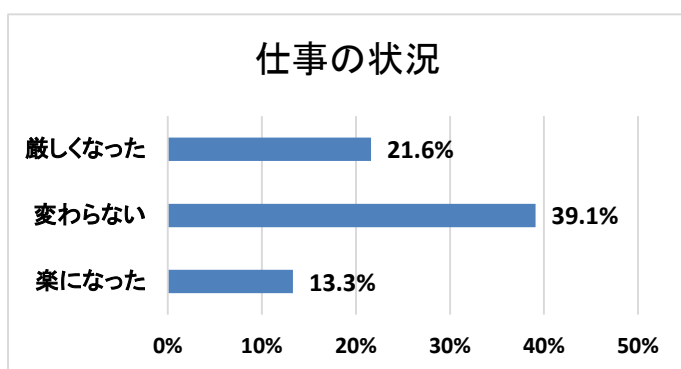
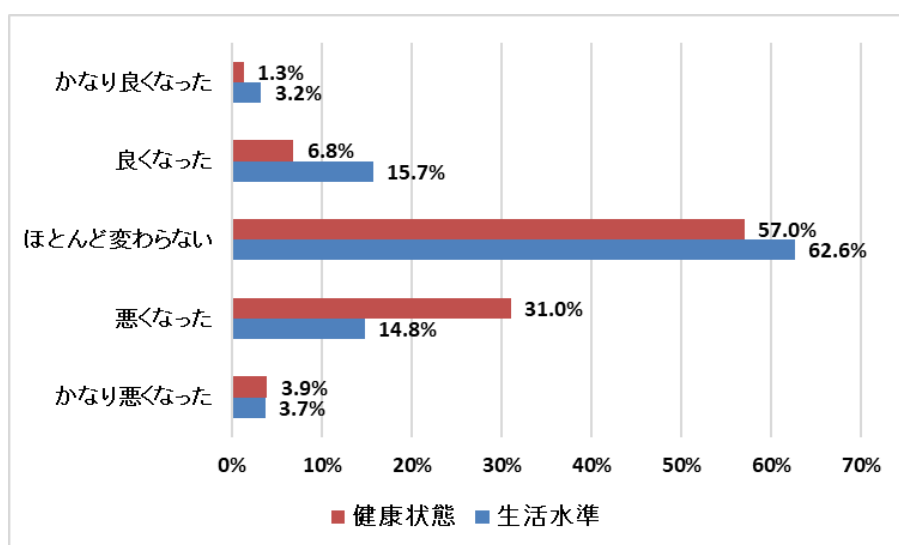
	暮らし向き				
現在	1. 大変ゆとりがある 3.9%	2. ややゆとりがある 22.4%	3. 普通 51.5%	4. やや苦しい 16.4%	5. 大変苦しい 5.9%
最初の仕事に就いたあと	1. 大変ゆとりがあった 4.9%	2. ややゆとりがあった 20.1%	3. 普通 53.5%	4. やや苦しかった 15.8%	5. 大変苦しかった 5.7%
15歳の頃	1. 大変ゆとりがあった 8.6%	2. ややゆとりがあった 16.0%	3. 普通 51.8%	4. やや苦しかった 17.0%	5. 大変苦しかった 6.6%



暮らし向きについて、現在も過去も「普通」と回答した人が半数で、最も多かった。「ゆとりがある」割合は現在と過去を比較してもほとんど変化がなかった。

問13 5年前に比べて、現在の生活はどのようになっていますか。それぞれの項目について、あてはまるもの一つに○をつけてください。

	5年前の状況を比べた現在の状況
(1) 生活水準	1. かなり良くなった 3.2% 2. 良くなった 15.7% 3. ほとんど変わらない 62.6% 4. 悪くなった 14.8% 5. かなり悪くなった 3.7%
(2) 健康状態	1. かなり良くなった 1.3% 2. 良くなった 6.8% 3. ほとんど変わらない 57.0% 4. 悪くなった 31.0% 5. かなり悪くなった 3.9%
(3) 仕事の状況	1. 厳しくなった 21.6% 2. 変わらない 39.1% 3. 楽になった 13.3% 4. 5年前働いていなかった 5.4% 5. 現在、働いていない 20.6%
(4) 収入	1. 増えた 22.5% 2. あまり変わらない 40.2% 3. 減った 37.3%



5年前と比べた現在の状況について、「生活水準」「健康状態」「仕事の状況」「収入」のいずれの項目も「変わらない」が最も多く示された。生活水準については「悪くなった」よりも「良くなった」方がわずかに多いが、仕事の状況や収入については「楽になった」「増えた」よりも「厳しくなった」「減った」回答のポイントが高かったことが示された。

問14 あなたの仕事と家族の関係についてお聞きします。それぞれの項目について、もっとも近いもの一つに○をつけてください。現在仕事をしていない方は、問15にお進みください。

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
仕事が原因で家族と一緒に過ごす時間が十分取れないでいる	9.9%	19.3%	28.8%	42.0%
家族のあれやこれやで思うように仕事に時間を配分できない	4.2%	11.0%	34.3%	50.5%

仕事と家族との関係については、どちらも支障がでるような影響を与えないという回答が一番多かった。どちらかといえば、仕事が原因で家族との時間がとれないという回答が多くみられた。

問15 あなたの現在の健康状態について、あてはまるもの一つに○をつけてください。

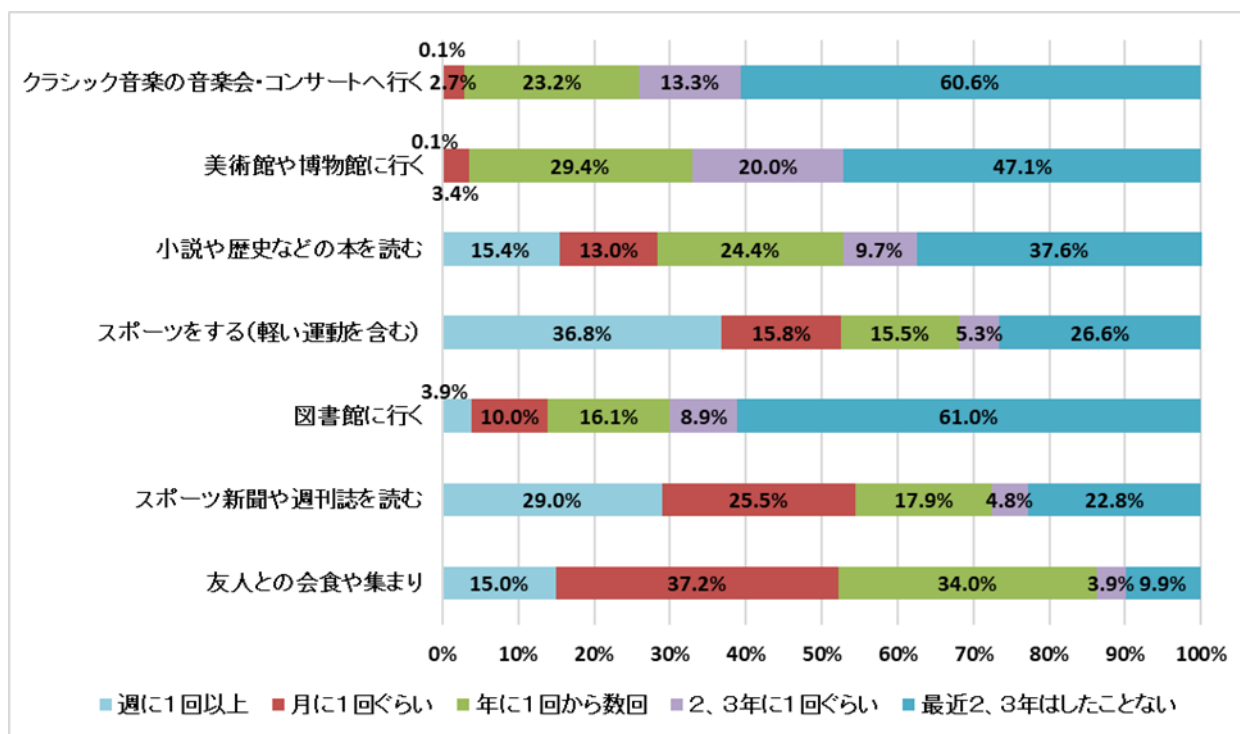
1. よい 8.3%	2. まあよい 19.3%	3. ふつう 48.1%	4. あまりよくない 21.7%
5. よくない 2.6%			

問16 この1ヶ月間、どれくらいの頻度で次のことがありましたか。それぞれの項目について、あてはまるもの一つに○をつけてください。

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったく ない
神経過敏に感じた	4.1%	5.6%	20.8%	26.7%	42.9%
絶望的だと感じた	1.8%	2.1%	9.6%	18.4%	68.1%
そわそわ、落ち着かなく感じた	2.0%	2.5%	14.2%	27.8%	53.6%
気分が沈み込んで、何が起ころっても気が晴れないように感じた	2.2%	3.6%	13.7%	30.2%	50.3%
何をするのも骨折りだと感じた	2.2%	3.1%	14.2%	31.2%	49.3%
自分は価値のない人間だと感じた	2.1%	2.5%	9.1%	21.1%	65.2%

問17 以下のそれぞれの活動について、過去2～3年間でどれくらい行いましたか。それぞれの項目について、もっとも近いもの一つに○をつけてください。ただし、あなたが自由時間に行うものに限ります。学校の行事や仕事で行うものは含みません。

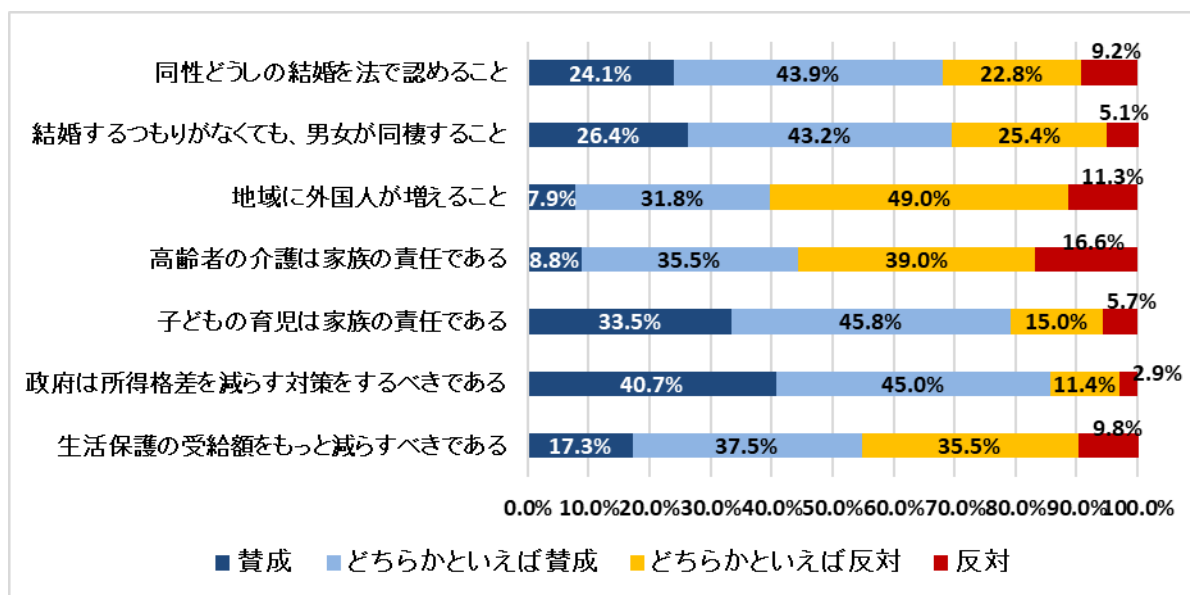
	週に1回以上	月に1回ぐらい	年に1回から数回	2、3年に1回ぐらい	最近2、3年はしたことがない
クラシック音楽の音楽会・コンサートへ行く	0.1%	2.7%	23.2%	13.3%	60.6%
美術館や博物館に行く	0.1%	3.4%	29.4%	20.0%	47.1%
小説や歴史などの本を読む	15.4%	13.0%	24.4%	9.7%	37.6%
スポーツをする（軽い運動を含む）	36.8%	15.8%	15.5%	5.3%	26.6%
図書館に行く	3.9%	10.0%	16.1%	8.9%	61.0%
スポーツ新聞や週刊誌を読む	29.0%	25.5%	17.9%	4.8%	22.8%
友人との会食や集まり	15.0%	37.2%	34.0%	3.9%	9.9%



友人との会食やスポーツをする割合は過半数を超えるが、音楽や絵画等の鑑賞や図書館に足を運ぶ機会は少ないことが示された。

問18 以下の事柄や意見について賛成ですか、反対ですか。それぞれの項目について、あてはまるもの一つに○をつけてください。

	賛成	どちらか といえば 賛成	どちらか といえば 反対	反対
同性どうしの結婚を法で認めること	24.1%	43.9%	22.8%	9.2%
結婚するつもりがなくても、男女が同棲すること	26.4%	43.2%	25.4%	5.1%
地域に外国人が増えること	7.9%	31.8%	49.0%	11.3%
高齢者の介護は家族の責任である	8.8%	35.5%	39.0%	16.6%
子どもの育児は家族の責任である	33.5%	45.8%	15.0%	5.7%
政府は所得格差を減らす対策をするべきである	40.7%	45.0%	11.4%	2.9%
生活保護の支給額をもっと減らすべきである	17.3%	37.5%	35.5%	9.8%



家族にかかわる考え方について、同性婚については68%が賛成で、結婚前提でない同棲については69.6%が賛成であり、同性婚や同棲への認知が高まっているといえる。家族の責任に関する考え方として、高齢者介護は賛成よりも反対の方が多いが、子どもの育児については79.3%が賛成で、高齢者と子どもとの違いがみられた。地域に外国人が増えることについては、反対が60.3%がと賛成を上回っており、地域におけるこれからの課題となるのではないだろうか。所得格差に関しては85.7%が減らすことに賛成であり、経済格差を是正すべきと考えている人が多いことが示された。一方で生活保護者への支給額減額については、賛成が54.8%で、反対が45.3%で、現在の支給額に対して不満がある人が半数以上となっている。

あなたご自身のことについてお聞きします。

問19 あなたの性別をお聞かせください。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 男性 41.6% | 2. 女性 58.4% |
|--------------------|--------------------|

問20 あなたの満年齢をお聞かせください。

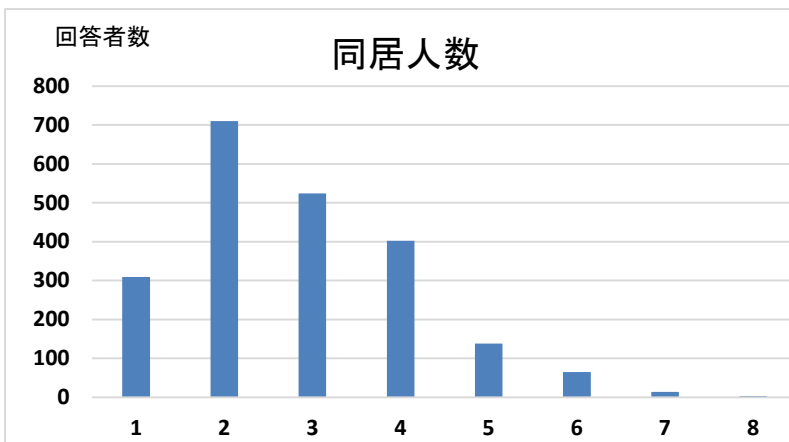
- | | | | |
|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 1. 30～34歳 7.6% | 2. 35～39歳 6.7% | 3. 40～45歳 10.7% | 4. 45～49歳 10.8% |
| 5. 50～54歳 12.9% | 6. 55～59歳 14.0% | 7. 60～64歳 10.6% | 8. 65～69歳 11.6% |
| 9. 70歳以上 15.1% | | | |

問21 あなたの婚姻状況をお聞かせください。

- | | |
|---------------------------------|----------------------------------|
| 1. 未婚（結婚したことがない） 13.5% | 2. 既婚・有配偶（夫または妻がいる） 73.2% |
| 3. 離別（夫または妻と離別して独身） 9.4% | 4. 死別（夫または妻と死別して独身） 3.9% |

問22 現在、あなたといっしょに住んでいる方は、あなたを含めて全部で何人ですか。一時的に別居している方は除いてご記入ください。

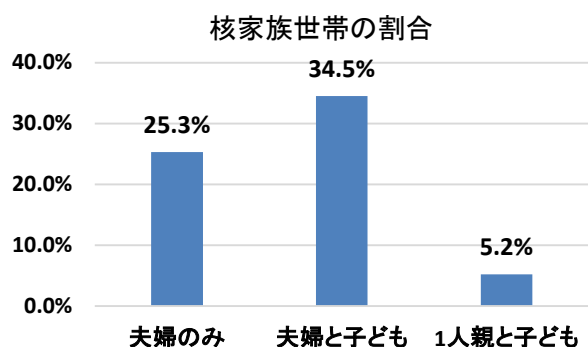
人（一人暮らしの場合は「1」とお書きください）



同居人数については、2人が710人と一番多く、次いで3人（524人）、4人（402人）であり、一人暮らしは全体の14.3%であった。

問23-1 あなたはどなたと一緒に暮らしていますか。あなたを含めて、次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。なお、配偶者には婚姻届けを出していない内縁の方を含みます。

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| 1. あなた自身 | 2. あなたの配偶者 70.1% | 3. あなたの子ども 49.0% |
| 4. あなたの父 5.6% | 5. あなたの母 11.0% | 6. あなたの義父 1.4% |
| 7. あなたの義母 3.2% | 8. あなたの祖父母 0.6% | 9. 配偶者の祖父母 0.3% |
| 10. あなたの兄弟姉妹 2.9% | 11. 配偶者の兄弟姉妹 0.2% | 12. あなたの子どもの夫・妻 2.0% |
| 13. あなたの孫 3.2% | 14. その他の親族 0.6% | 15. 親族以外の方 0.8% |



問23-2 前の質問で「3. あなたの子ども」に○をつけた方にお聞きします。お子さんの年齢について、それぞれあてはまるものに一つに○をつけてください。

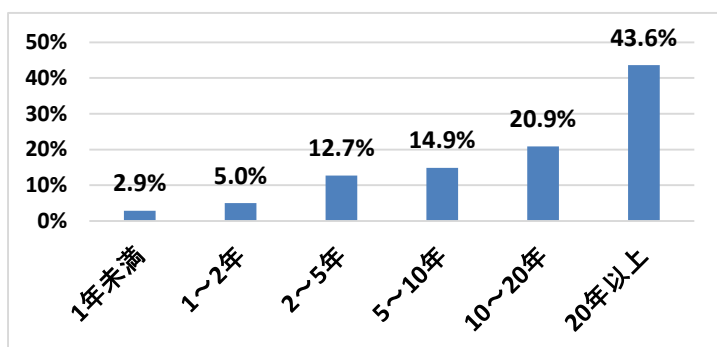
	いる	いない
小学校入学前のお子さん	36.9%	63.1%
小中学校、高校に通っているお子さん	57.4%	42.6%
それよりも上のお子さん	67.2%	32.8%

問24 名古屋市内に親戚・親類（親や子を含む）の方は住んでいますか。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 住んでいる 75.8% | 2. 住んでいない 24.2% |
|-----------------------|------------------------|

問25 あなたご自身は、現在の住所にお住まいになって何年になりますか。

- | | | |
|-----------------------|------------------------|-----------------------|
| 1. 1年未満 2.9% | 2. 1年～2年 5.0% | 3. 2～5年 12.7% |
| 4. 5～10年 14.9% | 5. 10～20年 20.9% | 6. 20年以上 43.6% |



問26 あなたのお住まいは次のうちどれですか。

1. 持ち家一戸建て 48.4%	2. 持ち家集合住宅 22.0%
3. 民間の賃貸住宅（一戸建て、集合住宅） 19.9%	4. 給与住宅（社宅・官舎・寮） 2.3%
5. 公営の賃貸住宅（市営、県営、公社、公団） 6.8%	6. その他（具体的に ） 0.7%

問27 あなたの前住地はどこでしたか。またその引っ越しのきっかけは何でしたか。それぞれあてはまるものに一つに○をつけてください。

※生まれてからずっと現在のお住まいに住んでいらっしゃる方は問28へ

前住地	1. 名古屋市内→（区） 57.7%	2. 名古屋市以外の愛知県 20.4%	
	3. 岐阜県・三重県 6.0%	4. その他（ ） 15.4%	
きっかけ	1. 仕事のため 16.2%	2. 結婚のため 21.7%	3. 住み替えのため 40.2%
	4. 家族の都合で 16.0%	5. その他（ ） 5.9%	

問28 あなたは中学校を卒業したときに、どちらにお住まいでしたか。

1. 生まれてからずっと現在の住所に住んでいる 10.4%	2. 名古屋市内→（区） 36.5%
3. 名古屋市内を除く愛知県 18.3%	4. 岐阜県・三重県 9.6%
5. 東海3県以外の都道府県 24.9%	6. 日本国外 0.3%

問29 あなたが最後に卒業された学校は次のうちどれですか。

1. 中学校 6.9%	2. 高校 32.9%	3. 短大・高等専門学校 23.1%
4. 大学 32.8%	5. 大学院 4.2%	

問30 あなたのお仕事についてお聞きします。

(1) 現在、収入をとまなう仕事についていますか。

1. ついでている 72.5%	2. ついでているが休職中 1.5%	3. 今はついでいないが過去についていた 24.8%	4. 仕事についてたことはない 1.2%
------------------------	---------------------------	-----------------------------------	-----------------------------

現在のお仕事についてお答えください	今までについてた主なお仕事についてお答えください	次ページの問31へお進みください
-------------------	--------------------------	------------------

(2) その仕事は、次のどれにあたりますか。

1. 経営者・会社団体役員 6.3%	2. フルタイム雇用者（正社員） 50.8%
3. 臨時雇い・パート・アルバイト 24.9%	4. 派遣社員・契約社員・嘱託社員 8.3%
5. 自営業主または家族従業員 9.5%	6. 内職 0.2%

(3) その仕事の種類は、大きく分けて次のどれにあたりますか。

1. 専門・技術系の職業 24.1%	(医師、弁護士、教員、エンジニア、看護師、デザイナーなど)
2. 管理的職業 7.1%	(課長相当以上の管理職、議員など)
3. 事務・営業系の職業 28.4%	(事務員、営業社員、銀行員、キーパンチャー、集金人など)
4. 販売・サービス系の職業 22.7%	(店主、店員、外交員、美容師、接客、清掃、ヘルパーなど)
5. 技能・労務・作業系の職業 13.4%	(工場労働者、自衛官、警察官、職人、建設作業員、運転手など)
6. 農林漁業職 0.1%	(植木職、造園業を含む)
7. その他 4.1%	具体的に ()

(4) お勤め先の従業員数は、全体（支社、営業所だけでなく）でどのくらいですか。

1. 1～29 人	2. 30～299 人	3. 300～999 人	4. 1000 人以上	5. 官公庁・公社・公団
30.9%	23.4%	12.3%	27.0%	6.4%

(5) 平均的な1週間あたりの実労働時間はどれくらいですか。

時間くらい

(6) お勤め先の場所はどこでしょうか。

1. 名古屋市内 78.1%	2. 愛知県 16.3%	3. その他 5.6%
-----------------------	---------------------	--------------------

(7) お勤め先への通勤時間は何分くらいでしょうか。

分くらい

問31 あなたの配偶者（内縁の方を含む）のお仕事について聞きます。なお、配偶者がいない場合は以下の欄は記入不要です（次ページの問32へお進みください）。

(1) 現在、収入をとまなう仕事についていますか。

1. ついでいる 69.5%	2. ついでいるが休職中 1.5%	3. 今はついでいないが 過去についていた 25.1%	4. 仕事についていた ことはない 3.9%
↓		↓	↓
現在のお仕事について お答えください	今までについた主なお仕事 についてお答えください	次ページの問32へお 進みください	

(2) その仕事は、次のどれにあたりますか。

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------|
| 1. 経営者・会社団体役員 8.4% | 2. フルタイム雇用者（正社員） 50.1% |
| 3. 臨時雇い・パート・アルバイト 22.4% | 4. 派遣社員・契約社員・嘱託社員 8.0% |
| 5. 自営業主または家族従業員 10.8% | 6. 内職 0.3% |

(3) その仕事の種類は、大きく分けて次のどれにあたりますか。

- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| 1. 専門・技術系の職業 21.0% | (医師、弁護士、教員、エンジニア、看護師、デザイナーなど) |
| 2. 管理的職業 10.6% | (課長相当以上の管理職、議員など) |
| 3. 事務・営業系の職業 25.5% | (事務員、営業社員、銀行員、キーパンチャー、集金人など) |
| 4. 販売・サービス系の職業 21.2% | (店主、店員、外交員、美容師、接客、清掃、ヘルパーなど) |
| 5. 技能・労務・作業系の職業 18.3% | (工場労働者、自衛官、警察官、職人、建設作業員、運転手など) |
| 6. 農林漁業職 0.2% | (植木職、造園業を含む) |
| 7. その他 3.2% | 具体的に () |

(4) お勤め先の従業員数は、全体（支社、営業所だけでなく）でどのくらいですか。

- | | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. 1～29人 | 2. 30～299人 | 3. 300～999人 | 4. 1000人以上 | 5. 官公庁・公社・公団 |
| 32.3% | 24.3% | 11.4% | 27.2% | 4.8% |

(5) 平均的な1週間あたりの実労働時間はどれくらいですか。

時間くらい

6) お勤め先の場所はどこでしょうか。

- | | | |
|-----------------------|---------------------|--------------------|
| 1. 名古屋市内 74.3% | 2. 愛知県 17.9% | 3. その他 7.7% |
|-----------------------|---------------------|--------------------|

(7) お勤め先への通勤時間は何分くらいでしょうか。

分くらい

問32 過去1年間のあなたのお宅（生計をともにしている家族）の収入は、税込みでいくらぐらいでしたか。他の家族の方の収入も含めてお答えください。

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 200万円未満 8.6% | 2. 200万円～400万円未満 21.3% |
| 3. 400万円～600万円未満 20.5% | 4. 600万円～800万円未満 17.5% |
| 5. 800万円～1,200万円未満 19.6% | 6. 1,200万円～1,500万円未満 6.4% |
| 7. 1,500万円～2,000万円未満 3.5% | 8. 2,000万円以上 2.5% |

問33 最後に、近所づきあいやまちづくり活動について、今の心境を率直にお書きください。

長時間のご回答、誠にありがとうございました。

自由回答では、1165名（アンケート回答者の約半分）の回答があり、近所づきあい、地域における住民の交流、まちづくりについて、住民の多様な意見を伺うことができた。

近所づきあい、地域の活動については、肯定的な意見と否定的な意見に分かれた。肯定的な意見としては、子育てなど地域の人が協力しあうことは大切である、困ったときにはお互いに助けあえる関係がいい、できる範囲で地域活動に協力したいという回答があった。否定的な意見としては、SNSがあれば生活の問題はなく近所づきあいは必要ではない、近所づきあいは苦手で面倒でわずらわしい、仕事で忙しく時間の余裕がないなどの回答があった。また、子どもを通して地域との関わりがあったが、子どもが大きくなると関わりがなくなった、マンション居住・未婚や新しく移動した人は地域での交流をつくることは困難であるという回答であった。さらに、世代を超えた交流の場をつくることは難しい、ライフスタイルが多様化しており地域での交流が難しい、名古屋市は閉鎖的な地域で地域活動に参加しにくいなど、地域での交流の問題を指摘する回答もあった。他方で、自治会などの地域活動は必要であると思うが負担が大きい、近所づきあいがいので災害時や高齢になった時は不安であるなど、地域における住民の交流の重要性を認識している回答もあり、大都市におけるコミュニティの両義性を確認することができた。

アンケート調査に協力していただき、誠にありがとうございました。これから詳細なデータ分析を進め、地域での生活の不安、満足度を規定する要因や大都市における地域コミュニティの課題を明らかにしていきます。この調査研究に関する報告書・論文は、このHPで公開させていただきます。